

PROS

Proteo-Science Center, Ehime Univ.

PROS・医学部共同開催 PROSセミナー & 大学院特別講義

主催:プロテオサイエンスセンター病態生理解析部門
医学部心臓血管・呼吸器外科学講座

日時:令和8年6月22日(月) 17:30~19:00

場所:医学部総合教育棟2階 第2ゼミナール室

このたび、プロテオサイエンスセンター病態生理解析部門および医学部心臓血管・呼吸器外科学講座によるセミナー&大学院特別講義を開催いたします。皆様のご参加、心よりお待ちしております。

肝リンパ系における神経・免疫クロストークと疾患

Yale 大学 医学部内科消化器科 教授
岩切 泰子 先生

リンパ系は体液恒常性の維持、免疫制御、老廃物の除去を担う重要なシステムであるが、肝臓における役割はこれまで十分に理解されてこなかった。近年、そのマーカーが明らかになり、解析技術が進み、肝リンパ管が肝疾患の発症・進展に深く関与することが明らかになってきた。肝リンパ管は炎症や線維化を抑制する機能を持ち、リンパ管新生は肝障害に対する適応的な修復応答として働く。一方で、肝硬変ではリンパ機能の低下やリンパ流異常が生じ、病態悪化に関与する。

我々は、交感神経とマクロファージが協調してリンパ管新生を制御する新たな機構を見出した。特に、シユワン細胞由来の VEGF-C がリンパ管形成を促進し、この神経・免疫・リンパ系の相互作用の破綻は線維化を進行させる。逆にリンパ管新生を促進すると、リンパ排液の改善、線維化の抑制、門脈圧亢進の軽減が認められる。これらの知見は、リンパ系を標的とした治療がさまざまな肝疾患に対して有望であることを示している。本講演では、肝リンパ系の最新知見とその治療応用の可能性について紹介する。



なお、本セミナーは医学系研究科を対象とした大学院特別講義としても認定されています。大学院生は、事前に学務課より配布されるレポート用紙に、講義概要及び論評を記述し、下記期限までに学務課大学院チームへ提出してください。※レポート提出期限:7月6日(月)

◆お問い合わせ:プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門 内線:(5)5925 (今井)
または 医学部 心臓血管・呼吸器外科学講座 内線:(5)5331 (黒部)



愛媛大学プロテオサイエンスセンター TEL: 089-927-9686